

経済倶楽部便り

◆東京◆ 講演会当日の午餐会メニューは、ご当地食材を取り入れた「週替わり幕の内弁当」で趣向を凝らしています。ご利用いただいた方々からご好評をいただいておりますが、まだの方はぜひ一度お試しください。

さて、7月の講演会には松本健一氏（評論家、麗澤大学教授）、河野龍太郎氏（BNPパリバ証券チーフエコノミスト）、呉善花氏（拓殖大学教授）、浜矩子氏（同志社大学教授）をお招きします。

新会員を紹介します。荻田伍・アサヒグループホールディングス代表取締役会長兼CEO、小沼修・電通出版ビジネス・プロデューズ局局长、杉本品・電通取締役常務執行役員、土井真典・三菱UFJメリルリンチPB証券エグゼクティブディレクター、廣中聰氏。

（塚田 紀史）

◆中部◆ 今年前半までで印象に残った講演会は独立総合研究所の青山繁晴氏でした。青山氏は当日、中東のカタールから戻ったばかりとのことでしたが、日本のエネルギー問題について疲れを知らない話ぶりでした。講演の中心はメタンハイドレートです。メタンハイドレートとは海底でメタンガスが氷結したものです。実は日本の近海には天然ガス換算で約100年分が現在確認されているとのこと。今年から愛知県渥美半島沖でも掘削が開始されましたが、青山氏によると埋蔵量的には日本海側のほうがはるかに有望視され、よく公開される太平洋側中心の埋蔵地図はあくまで調査地図であること。日本海側の資源調査に政府が常に消極的な点など、興味深い指摘がありました。

7月は前半の最終月となりますので、講演会と懇親パーティーを予定しています。講演会は東レ経営研究所の佐々木常夫氏と同志社大学大学院の浜矩子氏にお願いしています。

（日暮 良一）

社団法人経済倶楽部（東京）とは

Q 経済倶楽部の主な事業は何ですか。

A 毎週金曜日の12時40分から2時頃まで開かれる定例講演会が中心事業です。東京駅日本橋口5分の東洋経済ビル9階にあるホールが会場で、年に約45回開かれています。ほかには経済金融懇話会や物申す会（いずれも会員相互の勉強会、毎月）、事業所見学会（年2回）、銷夏・忘年パーティ、ゴルフ親睦会、映画鑑賞会（毎週金曜日2時から）などがあります。

Q 会員制度はどのような仕組みですか。

A 会員は約670名で、法人（3名連記）と個人からなり、個人の半年会費は4万2000円です。入会は会員の紹介が基本ですが、紹介のない場合でも入会は可能です。会員は講演会の聴講、『講演録』の購読、各種企画への参加ができ、各種割引（ホールや会議室利用・食堂での飲食・出版物その他）の特典もあります。

Q 『講演録』だけ購読したいのですが。

A そのようなご希望をしばしばいただきますが、『講演録』の購読は会員限定となっています。定価は会員が友人などに贈呈したいときのためのものです。

◆『経済倶楽部講演録』バックナンバーのご案内

*6月号 竹中治堅（政策研究大学院大学教授）「混迷

の日本政治」若田部昌澄（早稲田大学教授）「大恐慌を防いだか？」山田昌弘（中央大学教授）「男女共同参画が日本を救う」小林和男（元NHKモスクワ支局長）「プーチン復帰」を見る目」

*5月号 三品和広（神戸大学大学院教授）「成長あり

きの戦略は幻想になった——どうする？日本企業」小菅信子（山梨学院大学法学部教授）「放射能とナシヨナリズム——福島」と「フクシマ」のあいだ」澄川喜一（日本芸術院会員、東京芸術大学元学長）「東京スカイツリーの秘密」前田昌孝（日本経済研究センター主任研究員）「株式市場に転機は来たか」